

外部装置インストールマニュアル

- プロッタ編 -

(株)セイロジャパン
サポートセンター

目 次

1. はじめに	2
2. 対応プロッタ言語.....	2
3. プロッタ言語の選択.....	3
(1) H P G L対応のプロッタに出力する場合	3
(2) H P G L 2対応のプロッタに出力する場合	6
4. 出力方法の設定.....	10
(1) プロッタが直接コンピュータにつながっている場合.....	10
(2) プロッタがプリンタサーバのコンピュータにつながっている場合	12
(3) プロッタがプリントサーバにつながっている場合	13

1. はじめに

このマニュアルはプロッタを STATION で使用できるように簡潔に説明したものです。

詳しくは、「STATION ユーティリティマニュアル 第 10 章」をご覧ください。

設定は、「3. プロッタ言語の選択」を行ったあと「4. 出力方法の設定」を行って下さい。

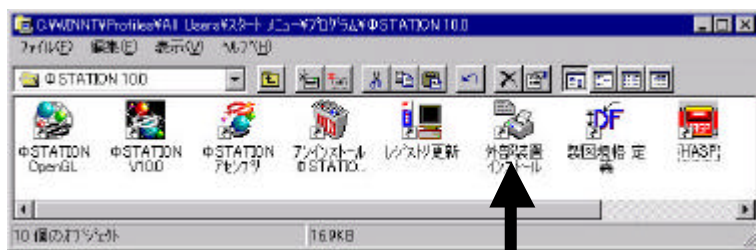
2. 対応プロッタ言語

STATION が対応しておりますプロッタの言語は、「HP-GL」と「HP-GL/2」です。

3. プロッタ言語の選択

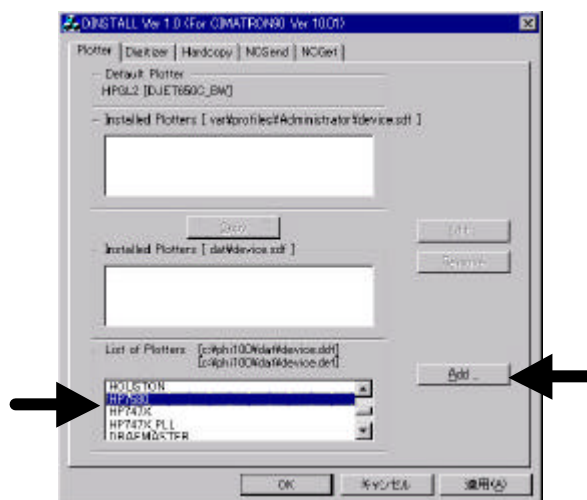
(1) HP - GL 対応のプロッタに出力する場合

- i. 「STATION10.0」外部装置インストールで設定します。



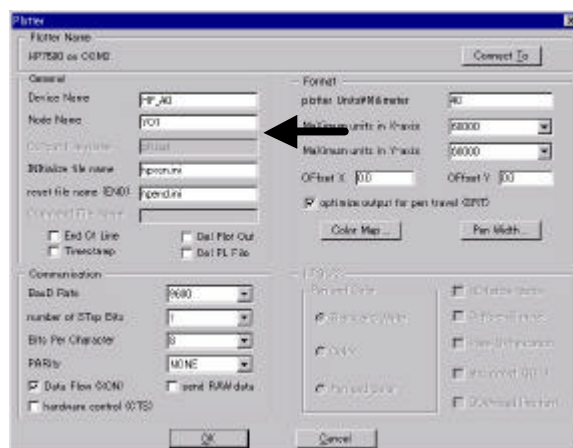
- ii. プロッタのタイプを選びます。

「List of Plotters」の中から、「HP7580」を選択し「Add」を押してください。



- iii. プロッタ出力に関する情報を入力します。

「Device Name」に STATION でのプロッタの名前を入れてください。



iv. プロットアウトの位置の設定

STATONでのプロットアウトの原点は左下です。

プロッタの原点も左下であれば設定の必要はありませんが、中央またはそれ以外の場合は、プロットアウトの位置の設定が必要です。

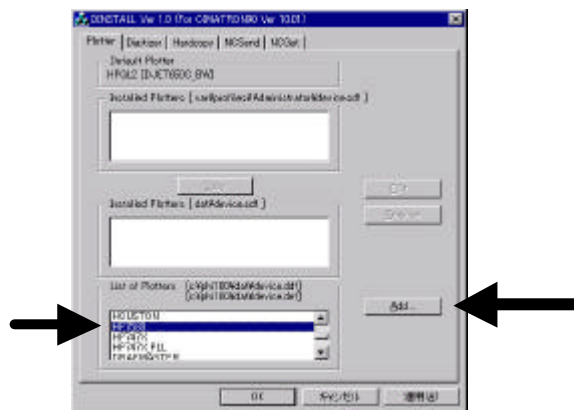
A 1 出力用のプロッタ。A 2 出力用のプロッタ。と言うような設定で複数台のプロッタに出力するように設定します。

設定例：

- A 1 出力用のプロッタを設定します。

A 1 の紙のサイズを縦 594mm 横 841mm とします。プロッタの原点は中央の場合です。上記同様に「外部装置インストール」を起動して設定します。

【List of Plotters】から「HP7580」を選び「Add」を押して下さい。

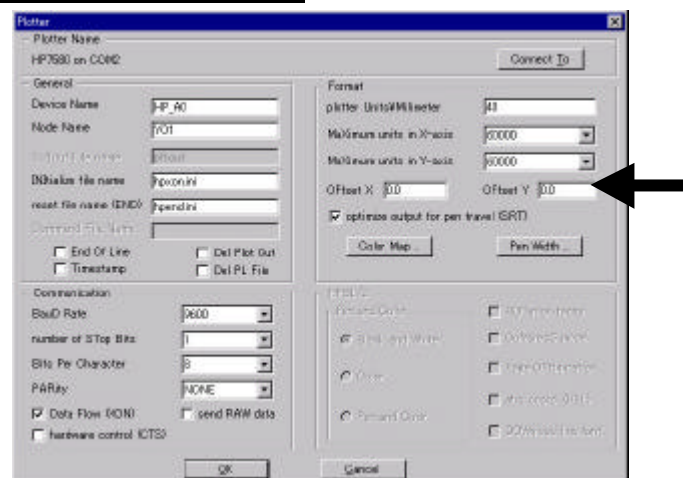


「Device Name」に「HP_A1」と入力し、「Offset X」に 841mm の半分の「420.5」

「Offset Y」に 594mm の半分の「297.0」を入力して下さい。

「OK」を押して下さい。

注 Offset の値は mm とは限りません。プロッタによってはドット数の場合もあります。値を調整しながら決定して下さい。



- A2出力用のプロッタを設定します。
A2の紙のサイズを縦 420mm 横 594mm とします。プロッタの原点は中央の場合です。
先程同様に上記同様に「外部装置インストール」を起動して設定します。
【List of Plotters】から「HP7580」を選び「add」を押して下さい。
「Device Name」に「HP_A2」と入力し、「Offset X」に 594mm の半分の「297.0」。「Offset Y」に 420mm の半分の「210.0」を入力して下さい。
「OK」を押して下さい。
- 他の用紙サイズもあれば、同様に設定します。
- STATDNから出力するときには、用紙サイズに応じて作成したプロッタを選択します。



- プロットアウトで出力の位置がずれるときには、「Offset X」「Offset Y」の数値を調整して下さい。

(2) H P - G L / 2 対応のプロッタに出力する場合

I. モノクロプロッタに出力する場合

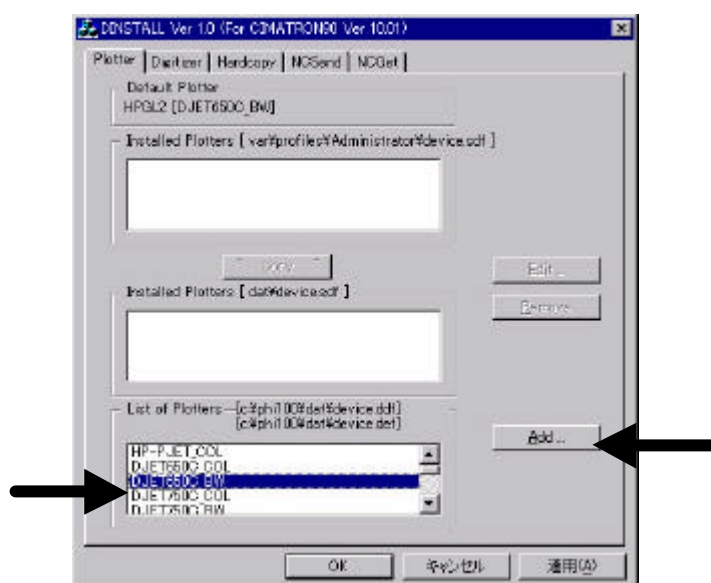
HP DJ-700,DJ-600,DJ-430,DJ-330 等

- i. 「 STATION9.1 (共通)」外部装置インストール」で設定します。



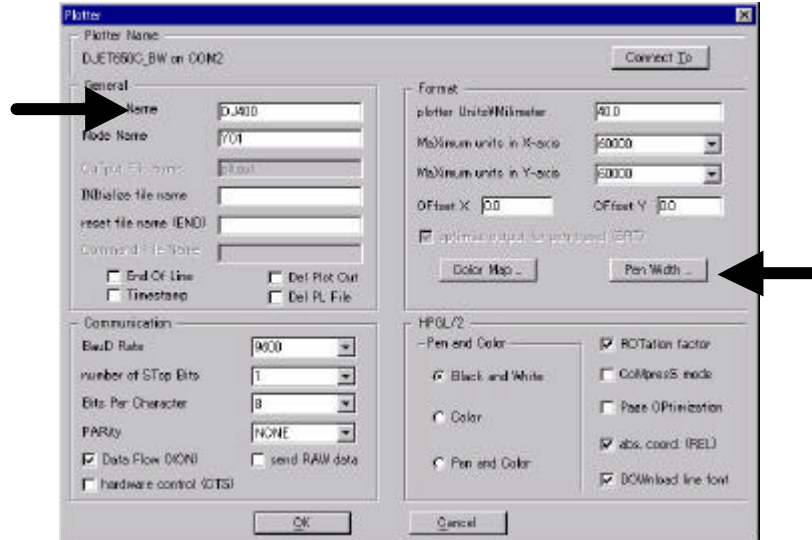
- ii. プロッタのタイプを選びます。

【List of Plotters】の中から、「DJET650C__BW」選択し「Add」を押してください。



iii. プロッタ出力に関する情報を入力してください。

「Device Name」に STATION でのプロッタの名前を入れてください。



iv. ペンの太さの設定をします。

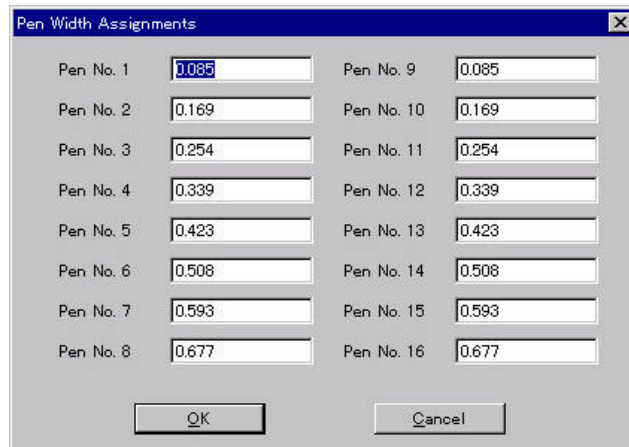
ペンプロッタ以外のプロッタ (インクジェットプロッタ等) では、出力時のペンの太さを指定できます。

- プロッタで「ソフトウェアによる」の設定が出来る場合

STATDNでペンの太さを設定します。

「Pen Width」を押します。

各「Pen No.」に適切な数値を入力します。単位はミリメートルです。



- プロッタで「ソフトウェアによる」の設定がない場合

(または STATDNで設定したペンの太さが正常に出力されない場合)

プロッタ側で設定して下さい。

II. カラープロッタに出力する場合

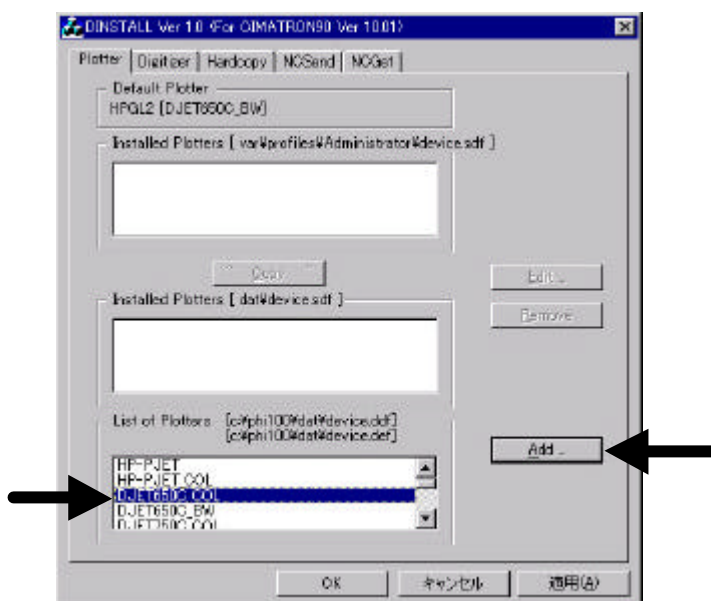
HP DJ-750C,DJ-650C,DJ-450C,DJ-350C 等

- i. 「 STATION9.1 (共通)」外部装置インストール」で設定します。



- ii. プロッタのタイプを選びます。

「List of Plotters」の中から、「DJET650C_COL」選択し「Add」を押してください。

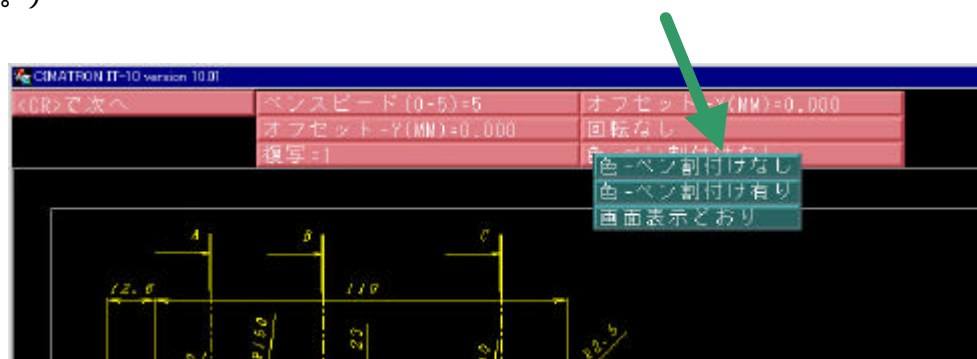


iii. ペンの色、太さの設定をします。

ペンプロッタ以外のプロッタ (インクジェットプロッタ等) では、ペンの色、太さを指定できます。

- プロッタで「ソフトウェアによる」の設定が出来る場合

プロッタ出力時のパラメータで「画面表示どおり」を選びますと (下図参照)、STATION 上の線の色、太さ (線属性のペン設定) で、プロッタに出力されます。(注: 白は黒で出力されず。)

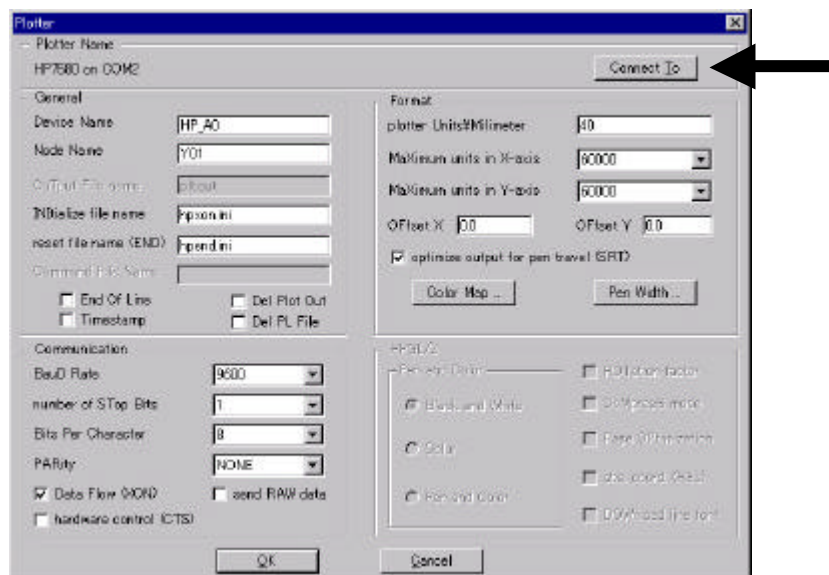


- プロッタで「ソフトウェアによる」の設定がない場合

(または STATON で設定した色、ペンの太さが正常に出力されない場合。独自にペンの色、太さを設定したい場合)
プロッタ側で設定して下さい。

4. 出力方法の設定

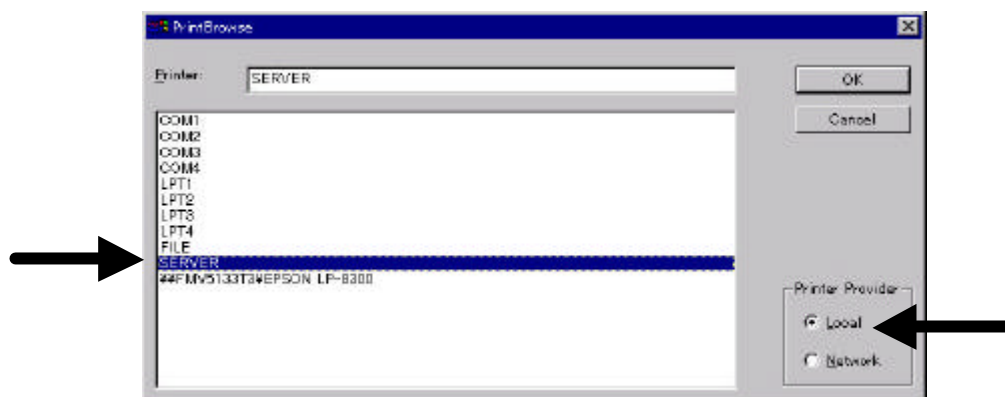
「Connect To」を押すと、STATION からプロットに出力する設定画面が出ます。



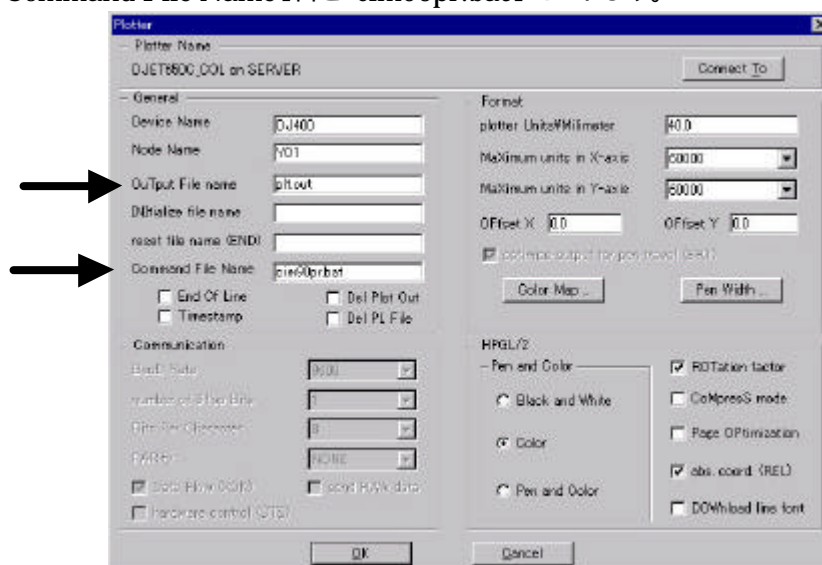
(1) プロッタが直接コンピュータにつながっている場合

プロッタが STATION がインストールされているコンピュータにつながっている場合について説明します。

- i. STATION がインストールされているコンピュータで作業をします。
- ii. STATION の「外部装置インストール」を立ち上げます。
- iii. 前項「2. プロッタ言語の選択」を行った後、「Connect To」を押して接続の設定をします。
- iv. 「Local」をえらび「SERVER」を選びます。



- v. 「Command File Name」名を「cim90pr.bat」といいます。



- vi. 「cim90pr.bat」というファイルを、下記を参考にしてメモ帳等で作ります。

(注： はスペースの意味)

¥phi100¥bin のフォルダに保存します。

- パラレルポートにつながっている場合
パラレルポートは「LPT1」の場合

```
@echo off
copy %1 lpt1
```

- シリアルポートにつながっている場合
シリアルポートは「COM1」。ボーレートは「9600」。パリティは「なし」。データ長は「8」。ストップビットは「1」。XON は「ON」の場合

```
@echo off
mode com1: baud=9600 parity=n data=8 stop=1 xon=on
print /d:com1 %1
```

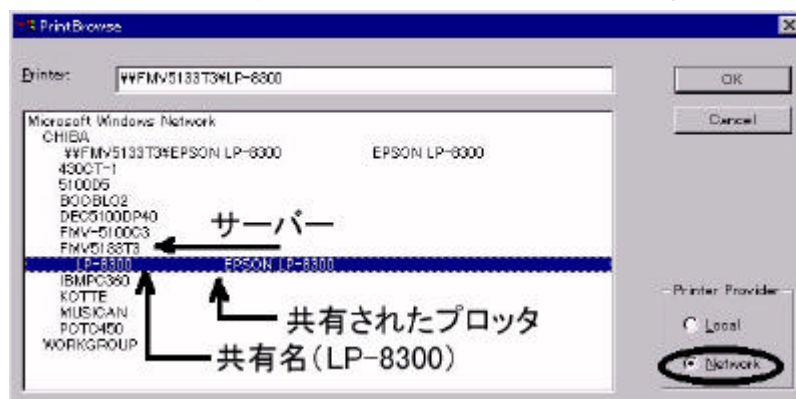
注意：プロッタがシリアルポートにつながっている場合には、プロッタとの通信条件 (ボーレート等) を必ず合わせてください。

- (2) プロッタがプリンタサーバのコンピュータにつながっている場合
 プロッタがプリンタサーバのコンピュータにつながっていて、ネットワークを通して出力する場合について説明します。

- i. プロッタがつながっているコンピュータ (プリンタサーバ) で、NT4 上にてプロッタをプリンタとして登録します。
注意 NT4 でプリンタとして登録できないプロッタは、STATION からプロッタ出力できません。
- ii. プロッタを共有に設定します。(例 LP-8300)
 プリンタサーバのコンピュータ名と、プリンタの共有名は以下の点を守って下さい。
 - ・ 8 文字以下にして下さい。
 - ・ スペースの入った名前は使用しないで下さい
 - ・ 漢字等の全角文字は使用しないで下さい。



- iii. STATION がインストールされているコンピュータで作業をします。
- iv. STATION の「外部装置インストール」を立ち上げます。
- v. 前項「2. プロッタ言語の選択」を行った後、「Connect To」を押して接続の設定をします。
 「Network」をチェックし、直接サーバのプロッタを選びます。

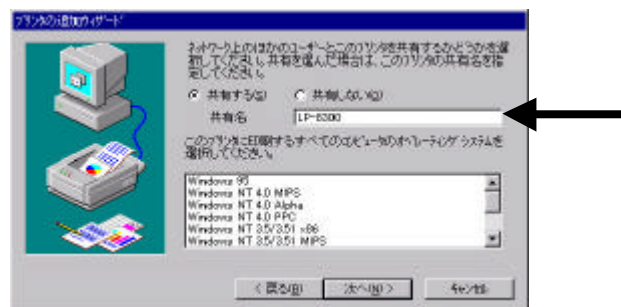


- vi. 続けて、すべて「OK」で終了して下さい。

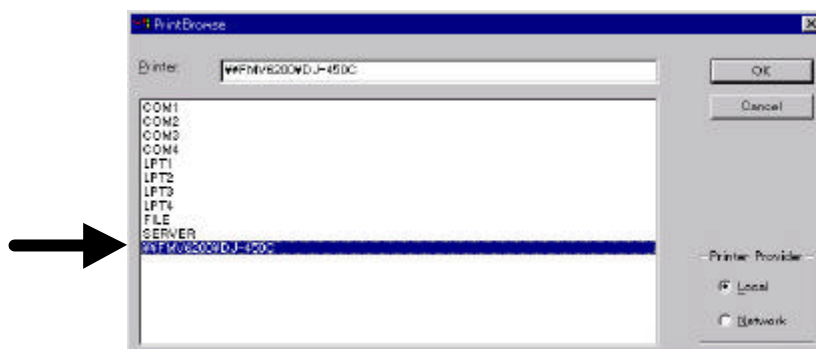
(3) プロッタがプリントサーバにつながっている場合

プロッタがプリントサーバにつながっていて、ネットワークを通して出力する場合。
プリントサーバが「HP JetDirect」の場合で説明します。

- i. STATION がインストールされているコンピュータで作業をします。
- ii. NT4 上にてプロッタをプリンタとして登録します。
NT4 上からプロッタに出力できることを確認します。
注意 NT4 でプリンタとして登録できないプロッタは、STATION からプロッタ出力できません。
- iii. プロッタを、共有に設定します。(例 DJ-450C)
STATIONがインストールされているコンピュータ名と、プリンタの共有名は以下の点を守って下さい。
 - 8 文字以下にして下さい。
 - スペースの入った名前は使用しないで下さい
 - 漢字等の全角文字は使用しないで下さい。



- iv. STATION の「外部装置インストール」で作業をします。
- v. 前項「2. プロッタ言語の選択」を行った後、「Connect to」を押して接続の設定をします。
先程設定したプリンターの共有名が出ています。(例 \\FIMV8200\DJ-450C)
選んで「OK」を押して下さい。



- vi. 続けて、すべて「OK」で終了して下さい。

STATION

外部装置インストールマニュアル プロッタ編 (STATION ver10.0)

連絡先 株式会社セイロジャパン
〒262-0013
千葉県千葉市花見川区こて橋町320-5
システムサポートセンター
電話 043-259-6561
FAX 043-259-7380

Copyright © 1999 年 9 月 ㈱セイロジャパン

本書の無断複写複製は特定の場合を除き、法律で禁じられています。